

議会報編集委員会 記録

1 日 時 令和2年6月11日(木)

開会 午前10時57分

閉会 午前11時17分

2 場 所 議会会議室

3 出席議員 10人

委員	長	泉	英	之
副委員	長	尾上	一大	彦
委員	員	久保	大邦	憲
委員	員	松井	幸	人
委員	員	金谷		則
委員	員	岡部		享
委員	員	上野		蚩
委員	員	押田	大	祐
委員	員	小西	直	樹
委員	員	松井	桂	将

4 欠席議員 0人

5 職務のため出席した職員

【議会事務局】

議事調査課長	野	嶽	誠	司
議事調査課長代理	中	山		崇
議事調査課調査係長	本	田	宏	之
議事調査課主任	河	原	絢	加
議事調査課主任	田	伏	由	佳
議事調査課主事	木	戸	雅	人

6 協議結果について

1 とやま市議会だより（No.65）のレイアウトについて

配布資料の案を基本にして、作成していくことを決めた。コロナ禍において、議会内でどのような議論がなされていたかを伝える内容を掲載することを決めた。また、最終ページは政務活動費の記事を掲載することとし、文言等の修正を含め、作成していくことを決めた。

2 表紙のモノクロ化について（委員外議員からの発言申出）

表紙・裏表紙についてはこれまで通りカラーページとすることを決めた。

7 会議の概要

委員長 ただいまから議会報編集委員会を開会いたします。御自由な発言をお願いいたします。協議に先立ち、委員会記録の署名委員に上野委員、押田委員を指名いたします。本日の協議事項は「とやま市議会だより（No. 65）について」であります。まず、お手元に配付のレイアウト案について、事務局から説明をお願いいたします。

議事調査課長 それでは「とやま市議会だより（No. 65）」のレイアウト案について、御説明をいたします。まず、今回は全12ページとなっております。発行日は8月20日でございます。1ページ目につきましては、これまでと同様のレイアウトとなっておりますが、色については現在のところ未定でございます。2ページ、3ページにつきましては、令和2年6月定例会の概要を掲載いたします。見出しとリード文、次に定例会の日程、補正規模の表、可決した主な議案、意見書や請願・陳情の審査結果、議案などの会派別賛否一覧、委員会諸会議の開催状況の掲載でございます。写真につきましては、今後検討させていただ

きたいと考えております。

4ページにつきましては、議会運営委員会、予算決算委員会、全体会と分科会報告などと、関連した写真についても掲載をいたしたいと考えております。

5ページにつきましては、4つの常任委員会の委員長報告と関連写真でございます。

6ページから9ページまでの上段にかけては、今回質問をされます16名の議員の一般質問についてを掲載いたします。

9ページ中段には、新型コロナウイルス感染症情報連絡会議において取りまとめられました要望について、市長、副市長へ提出した記事と写真を、さらにその下段以降につきましては、新型コロナウイルス感染症対策事業に必要な財源として活用してもらうため、市議会として減額補正を行ったことについて、また、議会報編集の原稿の締切りの関係もございしますが、7月の中旬までに自転車安全利用促進特別委員会が開催された場合には、審査の状況であるとか内容についての記事を掲載したいと考えております。

10ページにつきましては、令和2年5月臨時会の概要や日程など、また臨時会に関する豆知識や次回9月定例会の日程の予定について掲載をいたしたいと考えております。

11ページについては、傍聴、議会中継、会議録の御案内や請願・陳情の提出方法などについての記載をしたいと考えております。

12ページは、最終ページで、カラーページとなります。今回は、特集 政務活動費として、令和元年度の政務活動費の収支報告や概要を掲載したいと考えております。

本日はお手元のほうに、昨年度、特集記事として掲載いたしましたものを参考に配付させていただいておりますが、レイアウトや掲載方法についてはお配りしたものと同様の形と考えております。

説明は以上でございます。

委員長

レイアウト案について御意見を伺う前に、表紙に掲載してあるマスク着用のペロリッチについて伺います。前回の委員会にて、マスク着用のペロリッチを紙面に掲載したらどうかという話がありましたが、前回のNo. 64号には掲載されず、今回のNo. 65号には掲載されています。経緯について、簡単に説明をお願いいたします。

議事調査課長

当初、企画管理部の広報課にこれを使用してよろしいのかどうかということを確認いたしますと、広報課内部では、まだその時点では、

著作権だとかいろいろな関係があるため判断ができていなかったということでございます。その後、企画管理部として市全体として使えるものという判断をしたというところでございます。

委員長

了解しました。

それでは、レイアウト案について、何か御意見はございますでしょうか。

岡部委員

勘違いだったらごめんなさい。一般質問は17名でなかったですか。

議事調査課長

16名でございます。

岡部委員

分かりました。失礼しました。

久保委員

このコロナ禍の中で、一般市民の方からは、議員はふだん何をしているのかというような疑問をよく頂きます。

こういった状況下においても、議会がしっかりと個々で活動して、その声を届けるために議会内で議論していますよというようなもの、例えば、当局側との連絡会議だとか、提出した要望の件数などがあったと思うのですけれども、そういったものを少しスペースを取っ

て説明していただければと思います。
そもそも議会報自体、定例会のお便りだけではなくて、ふだん議員がどんなことをしているかというようなことも伝わればいいなと思うので、委員長、このことについてスペースも含めて検討いただけないでしょうか。

委員長

この件につきましては、私も事務局と協議した件があって、基本的には議会だよりはいつも定例のパターンで流れています。
できることなら、めくった1ページ目というのは、定例会ごとの重要な議案だったりいろいろなところをピックアップして、トピックス形式みたいな形で上げたらどうかという話もしていましたので、これを含めて皆さんの御意見をお伺いしたいのですが、よろしく願いいたします。

〔発言する者なし〕

委員長

ないようでしたら、私と尾上副委員長と一緒に事務局のほうと協議させていただきますので、よろしいでしょうか。

（「それって9ページでも大丈夫ですかね」と発言する者あり）

久保委員 9ページを見ていただくと、市民から見ると4月17日と5月15日しか活動していないとか、議長と副議長ばかりやっているのではないかと、そういうふうな見られ方をしている部分があるので、やっぱりここは議員であったり議会であったり常任委員会等々で、こういった取り組みをしっかりとしているよというような表現を出していただきたいなというふうに思います。

押田委員 9ページを見てみると、今本副市長に提出しましたという箇所がありますが、実際に議会の動きを見せようということであれば、対策会議を行っているシーンを本当は載せて、やっぱり議会ですから議論しているところをPRしていいのではないかなというふうには考えます。

委員長 それも検討して考えたいと思います。
この件について、ほかにありませんでしょうか。

〔発言する者なし〕

委員長 私のほうからもう一つ追加なのですが、新聞、ビラ等、一般紙ですと、今日あった一番大変

なことを大見出しでどんと出しています。
それで、今回の議会はこんなことがありました、いつもやっている流れはこうですよという流れにしたほうがよいかと思います。
2ページ目も考えられるのですが、1ページ目の、言ってみればここの主要な内容というところをもっと強調してやる方法もあるし、ちょっと検討させていただきます。
そのほかにございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

委員長 それでは、最終ページの政務活動費の掲載について意見を頂きたいのですが、載せる、載せないを含め、よろしく願いいたします。

押田委員 会派がどのような形で政務活動費を使っているか、どういったことに重きを置いているかということが分かりやすいので、載せたほうがいいのではないかというふうに思います。

委員長 ほかにございませんか。
前回、文字を大きくして欲しいという要望があったにもかかわらず、文字が小さくて見にくいということがあったので、レイアウトをどうするかというところも、次回議題にした

いとは思いますが、今は1人会派がちょっと多くなってきて、基本的にはそれを入れていくとまた文字が小さくなってしまいます。提案ではございますが、一切使わないという会派の皆さんについては、何々会派として一行にまとめるという方法もあると思います。これもまたちょっと検討させていただきたいなと思っています。

そのほか、ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

ないようでしたら、私のほうからもう1点、皆さんにお諮りしたいことがあります。

いつもは表紙について、基本的には事務局の方々がその御時世に合ったような、例えば先月号では南北接続がいいのではないかというように、候補を挙げてくれています。ですが、今コロナ対応で大変なもので、事務局に任せるというよりも、こういった案が何かございましたら、今すぐでなくて結構ですので、次号の表紙はこういったものをテーマにしたらいのではないかという写真を挙げていただいたり、挙げたらどうかという提案をしていただきたいのです。

次回の会議まで待てないというか、それまで

に写真を撮らなければならないということもあると思います。

例えば、チンドンコンクールだとか、春のメジャーな催しが全部中止になりましたので、どのようなテーマにするか、どんな写真を使うかというのはちょっと頭をひねるところでございます。この辺りを皆さんでちょっと考えていただいて、特に次回まで待たずに、私と尾上副委員長のほうに申出があれば、そういったものも事務局のほうに撮っていただきますので、私からの提案ですが、これでもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

では、そういうことでよろしく申し上げます。それでは、今回、委員外議員である村上議員より事前に発言の申出書が提出されておりますので、お諮りいたします。

村上議員の発言を許可することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

委員長

全会一致ということですので、村上議員、ひとつ説明をお願いいたします。

村上議員

お許しを頂きましてありがとうございます。
表紙のモノクロ化についてであります。
ただいま委員長から意義のある写真にしたい
というような趣旨の発言があったと思いますが、
これまでの写真を見ておきまして、カラー
である必要は全くないと考えており、意義
を私は感じておりません。

裏表紙も含めてモノクロ化にして費用はどれ
ぐらい節減できるかということ、1回につき1
0万円足らずというふうにも聞いております
けれども、カラーにする必要がなければ、こ
の辺りを削るのは正しいのではないかという
ふうに思っております。

今回示されております前年度の政務活動費、
これは裏表紙であります、カラーになって
おります。

これについても、先ほどおっしゃったように、
文字を大きくするとか、そもそも例えば会派
光を見ますと158万4,000円で、何だ
ろうと思って上までたどって行って、やっと
人件費と分かるわけで、大きなものについ
ては158万4,000円の横に人件費と書く
というようなことのほうが分かりやすいの
ではないかというふうに思っております。そ
うすればカラーにする必要はないというふう
に思います。

僅かの削減であります、害がないとすればこの辺りから削っていくというのが、6月定例会初日において、議案第10号、第11号も可決された皆さんでありますので、趣旨を御理解いただけるのではないかとこのように思います。せめて議論だけでもしていただければなというふうに思っております。以上であります。

委員長 ただいま2点ほどあったと思います。表紙のモノクロ化というのがまず1点、それと最終ページになるとと思いますが、こういった表現をカラーではなくて文字で全部表すほうが費用の削減になるのではないかと。ただし、今議員がおっしゃったように、10万円ほどの削減にしかならないけれどもという話なのですが、今の発言について御意見を求めます。

久保委員 まず事務局に確認ですけれども、表紙をモノクロにした場合は、裏表紙も基本的にモノクロになるという認識でよろしいですか。

議事調査課長 原則的に、裏表紙と表表紙は毎回カラーにして、中はこういったモノクロという感じになっておりますので、裏表紙、表表紙を変える

と、全部モノクロということになります。

久保委員

それを踏まえてなのですが、まずカラーである意義は、私はあると思っています。手に取って読んでいただくということに関して、以前、私が視察に行った先で、特定健診のはがきであっても、デザインとか大きさを変えて、それで注意を引いて読んでもらうというような効果が大変大きいということがありました。そういった意味では、市議会だよりも、まずは手に取って中身を読んでいただいて、議会であつたり議員の活動を知っていただくということは、大変有意義なことであると思いますので、私としては十分費用対効果はあると思いますし、モノクロにする必要はないというふうに思います。

押田委員

今、村上議員のほうから10万円という費用の話が出ましたけれども、年間で40万円ですよ。それによって費用対効果ではないですけども、今どきチラシでカラーではないものをあまり見なくなった世の中です。やっぱり人間というものは、モノクロよりカラーのほうが見やすいということがありますし、訴求力ですね、手に取って見る訴求力。そのほうがはるかに費用対効果が出るという

ふうに感じております。

主たる目的に、この市議会の動きがどうかであるかということや市民に知らしめること、及び議会の活動はどうかであるのかということに興味を持っていただくことということであれば、それに40万円の費用がかかっても、カラーにしておいて、それより内容を充実させることによってという形に変えさせていただくことで御理解は頂けるのではないかというふうに思います。

先ほど村上議員も言われましたけれども、意義のあるものをカラーに持って行ってという話を言われましたので、そこはこの内容で努力するという形でいかがでしょうか。

小西委員

押田委員、それから久保委員の言われたとおりで、やっぱり市民がまず手に取って見るということは非常に大事だというふうに思いますので、白黒ですと、やっぱり新聞と同様になってしまってなかなか見ません。新聞も1面にカラーだとかを結構入れていきますので、そういう面で、市民の皆さんに市議会を理解してもらおうという意味では、カラー化、2ページだけですけれども、しているというのは大いに意義があるのではないかなというふうに思います。

委員長 そのほか、ありませんか。
逆に、村上議員に対して賛同するという方の御発言があれば、まず頂きたいのですが。

〔発言する者なし〕

委員長 今提案されたばかりなので持ち帰るという方法もあるのですが、ただ、白黒、カラーの変更について、次回の日程に対して締切りがある場合には間に合うのか間に合わないのか、教えてください。

議事調査課長 カラーにするかカラーにしないかということについて、ちょっと業者に問合せをしないと分からない部分もありますので、今この場ではお答えはできかねます。

委員長 了解しました。

久保委員 委員長、反対は誰もいないので、カラーでいいのではないですか。

委員長 もちろんそうなのだけれども、一応の確認です。
それでは、挙手をもって決定します。
今、村上議員から提案のあった、モノクロで

いいのではないかというところに賛同する方の挙手をお願いいたします。

〔挙手する者なし〕

委員長

いませんね。

では、賛同しないという方、改めて挙手をお願いいたします。

〔反対者挙手〕

委員長

全会一致でございます。

村上議員、申し訳ございませんが決定いたしましたので、今までどおりカラーで行くということにいたしたいと思います。

そのほか、何か言い漏れたことがございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

委員長

ないようですので、次回の議会報編集委員会の日程を申し上げます。

7月9日木曜日、午前10時から開催を予定しておりますので、時間調整のほどよろしくをお願いいたします。

これをもって、議会報編集委員会を閉会いた

します。

議会報編集委員会 記録署名

令和2年6月11日

委員長 泉 英之

署名委員 上野 蛍

署名委員 押田 大祐